

福祉の受け手から担い手へ

このように、本町でもボランティア活動をしている人は少なくありません。バスや電車でお年寄りに席を譲る。横断歩道で体の不自由な人に手を貸す。このような日常生活の当り前の行為がボランティア活動です。

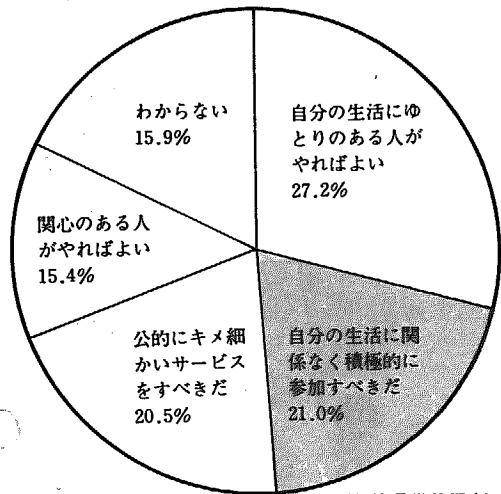
新潟県世論調査では、二〇パーセント強の人が「自分の生活に関係なく積極的に参加すべきだ」と答えています。その反面、四〇パーセント強の人が「ゆとりのある人、または関心のある人がやればよい」という「我関せず型」です。近年、福祉の見直しが考えられ

ています。それは、福祉の受け手から担い手へ、という積極的姿勢が必要とされているのです。難しく考えることはありません。たとえば、一円玉やロータースキーボン、ベルマークを集めてはいかがでしょうか。

また、古切手を集めましょう。記念切手でなくともかまいません。切手のまわり五ミリ位の紙をつけてそのまま切り取ってください。切手の送り先やボランティアへのお問い合わせは、

黒埼町社会福祉協議会へ。
事務局は黒埼町役場福祉課（電話 七—三二〇一）です。

ボランティア活動への参加は？



(新潟県世論調査) (昭和56年)

トピックス



税金は子供の明日を願うもの。十一月九日(月)、黒埼中学校で、「税の標語」入選者の表彰式が行われました。応募総数百六十点余で入選作は二十二点。金賞は見出しの白井和美さん、銀賞と銅賞は本号の下欄に掲載されています。写真右から白井さん、船戸正幸君、渡辺麻紀さん。
大雪だった大丈夫
町では、除雪車を一台購入しました。価格は一千八十三万円です。十一月十四日、祈とうが行われ、本格的な冬に備えています。



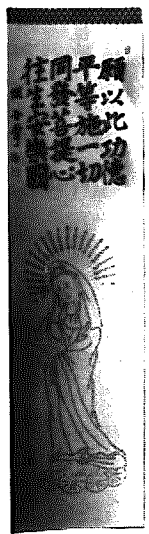
泣いた赤鬼 黒島小学校の学芸会。11月1日(日)。6年生の出し物は「泣いた赤鬼」。でも、ミュージカル仕立てなのです。幕が閉じると拍手がっさい。



北海道からようこそ 11月11日(水)、北海道の栗山町から10名の青年が本町を視察のため訪れました。本町も町長をはじめ青年のみなさんが出迎え、役場議場で交流会を開きました。

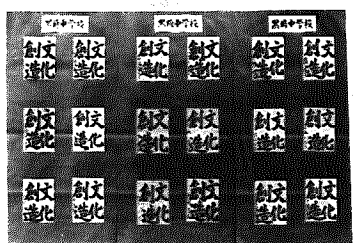
町の話をお聞かせください
黒埼町役場企画調整課
☎七—三二〇一

文化香る町 黒埼町文化祭



①絵 ②舞 ③作品展の掛軸 ④黒埼中学校の書道展

文化祭が十一月三、四日の両日、総合体育館で開かれました。体育館を会場としたのは今年が初めて。広い駐車場には車がいっぱい。広い体育館も人でいっぱい。各小学校、中学校の絵画や書道。一般の人の盆栽、菊花、絵画、写真、工芸品。各クラブの民具や掛軸。所狭しと展示され、多くの人が立ち止まって熱心に観賞していました。婦人会主催のバザーも好評で、たちまちのうちに売切れ、楽しい文化祭でした。



黒埼中学校の書道展 「文創造」そのとおり本町からも、新しい文化が生まれることを期待します。



盆裁が約百点。各小学校から選ばれた絵と習字が約九十点。体育館が飾りつけられました。
⑦愛石展 石と木の調和がすてきです。

③菊花展 どれこれれが美しい。大菊の部の会長賞は繁尾豊二さん、町長賞が清水久治さん。議長賞は伊藤徹さんでした。
④バザー おすし、だんごなどはあっという間に売り切れ、午前中には店閉まり。

